

大学院の学位論文に係る評価基準

研究科・専攻	修士論文の評価基準
	<p>1. テーマ設定の適切性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な問題意識に基づき、テーマが設定されているか。 ・テーマの探究に適したリサーチクエスチョンが明確に設定されているか。 ・先行研究を十分に検討し、自分の研究を適切に位置づけているか。
	<p>2. 研究方法の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の目的に照らして、妥当な研究方法が用いられているか。 ・研究方法の示し方が十分かつ明確であるか。 ・分析方法は妥当であるか。 ・研究の方法及び対象に対して倫理的配慮がなされているか。 ・研究倫理の確保について明確に記述されているか。
	<p>3. 結果・考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量的研究の結果は、図表を含め適切かつ明確に示されているか。 ・質的研究の結果は、十分に分析され説得力をもって記述されているか。 ・考察は、結果に基づいて議論され、説得力をもって記述されているか。
看護学研究科 看護学専攻	<p>4. 論旨の一貫性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究目的、研究方法、結果、考察、結論までの論旨に一貫性があるか。
	<p>5. 構成・表現・表記法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修士論文作成要項に則って作成されているか。 ・文章は文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。 ・誤字、脱字、口語表現の混入はないか。 ・図表は、適切な位置に配置され、適切な番号、タイトル、注釈がついているか。 ・文献は、必要な書誌情報が網羅され、規定どおりに記載されているか。
	<p>6. 貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学に対する研究目的の意義が明確か。 ・成果に看護実践への貢献や今後の発展が認められるか。
	<p>7. 口頭試問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容を分かりやすく説明できたか。 ・説明資料が適切か。 ・質疑に的確に回答できたか。
臨床心理学研究科 臨床心理学専攻	<p>1. 臨床心理学研究として、適切な先行研究を踏まえた課題提起がなされている。</p> <p>2. 事実の検証およびデータの分析において信頼性と妥当性が保たれている。</p> <p>3. 研究方法およびデータの扱いにおいて、臨床心理学研究としての十分な倫理的配慮がなされている。</p> <p>4. 臨床心理学の発展に寄与する妥当な考察がなされている。</p> <p>5. 論理構成が適切であり、学術論文としての形式が順守されている。</p> <p>6. 修士論文について、分かり易く適切なプレゼンテーションができる。</p> <p>7. 修士論文に関する質疑に対して、適切かつ十分な応答ができる。</p>